

# 平成29年度病害虫発生予報第5号(8月予報)

<今月のコラム> ・マンゴーにおける収穫後の病害虫防除対策について

・農業気象ポータルサイト

<お知らせ> さとうきびにおけるメイチュウ類の発生推移について以下URLに掲載しています。

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojournal/documents/meichu.html>

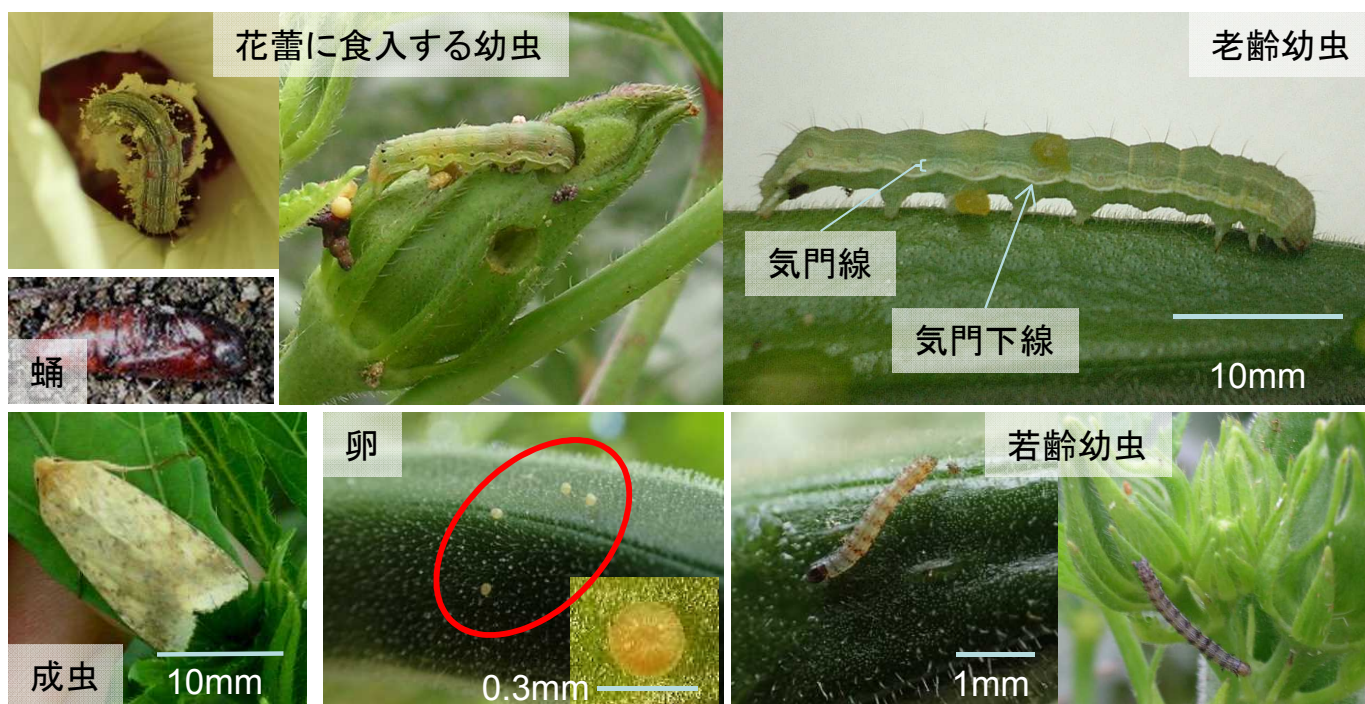
マンゴーにおけるチャノキロアザミウマの発生推移について以下URLに掲載しています。

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojournal/documents/chanoki.html>

## 今月のトピックス

## オオタバコガ (オクラ)

学名 : *Helicoverpa armigera*



## 生態と被害

本種は、ナス科やウリ科をはじめとする野菜類、花き類、工芸作物など多くの作物を加害する世界的な大害虫である。1990年代以降に西日本で突発的な大発生が見られるようになったが発生量は年次変動が大きい。長距離移動性害虫としても知られる。

成虫は前翅長15mm内外で前翅は灰黄褐色である。卵は果実や花蕾、茎葉に1～数個ずつ産み付けられ、ふ化直後の幼虫は体長2mm程度だが、老齢幼虫では35～40mmになる。体色は緑色、淡黄褐色～茶褐色まで変異が大きく、白く明瞭な気門線・気門下線を有する。5齢を経過した後、浅い土中で蛹化する。

県内のオクラでは、5～11月頃まで発生が見られ、葉、茎、花蕾、果実などほぼ全ての部位を食害する。移動と食害を繰り返し、1頭が数個の果実に食入するため、発生量が少なくても被害が大きくなることがある。また、齢期が進むほど薬剤に対する感受性が低下し、中齢幼虫以降は蕾や果実内に潜行するため、早期防除が重要である。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojournal/index.html>

平成29年7月27日

沖縄県病害虫防除技術センター